



No. **70**
 発行者 沼津市商工会
 会長 大村保二
 〈本所・原支所〉沼津市原1200番地の1
 TEL(055)966-1331 FAX (055)967-4925
 〈戸田支所〉沼津市戸田1028番地の5
 TEL(0558)94-2224 FAX (0558)94-4029
 編集 沼津市商工会広報委員会

地域の魅力を探る写真コンテスト
 入賞作決る(4面につづく)

「最優秀作」戸田の夏 毛利裕雄



「優秀賞」野生の鹿と富士山
 牧野士郎



こちむいて
 飯田英代

戸田村史の刊行について



戸田造船郷土資料博物館
 館長 勝又 恵三

平成十七年四月に沼津市と戸田村が合併し、丸九年になろうとしています。

合併以前に計画されていた村史の刊行は市に引き継がれ、平成二十六年の刊行を目指して編さん作業を進めています。

その目的は、多くの先人達の努力によって発展し築かれてきた戸田村の歴史を記録として残し、継承するとともに戸田村に残る風俗や伝統文化を集大成して地域の特色を明らかにし、戸田村の生活を振り返る基礎資料とすることでもあります。

構成は、江戸時代から沼津

市との合併までの時代を中心にまとめた「戸田村史 通史編」と、戸田、井田の各地区の民俗をまとめた民俗史「戸田村史 民俗編」の二巻です。「戸田村史 通史編」では、旧戸田村役場の所蔵文書等の史料が予想外に多く残っており、戸田村の近代の実態が明らかになりました。また、「戸田村史 民俗編」のテーマは、衣・食・住のあり方、年中行事や祭り、婚礼や葬式などの儀礼等、日々の暮らしの中で伝えられてきた「生活の知恵や技」です。

これらは、身近過ぎて記録が残りにくいため、古老等の体験や記憶の聞き取り調査が主な資料です。継承者がいないまま、忘れ去られていくしきりもあるかもしれません。デジタルデータを加えてご紹介する予定です。

昔を知る方には、懐かしい思い出と共に読みただけの事と思えます。どうぞご期待ください。

建設業関連部会講演会



講演会受講風景

消費税増税後、建設業界は、受注が激減することが予想されます。したがって、経営者は今から準備して行く必要があります。沼津市商工会建設業関連部会では、原支所と戸田支所合同で講演会を開催しました。テーマは「消費税改正における今後の経営対応」講師は、税理士 朝原邦夫氏。今までの経験、勘、度胸、義理、人情、接待の経営から客観、気配り、努力、学習、市場、専門家活用の経営に転換しなければ、これからの厳しい時代を生き残ることができません。講師は自己の体験や事例を基に熱く語ってくれました。出席者はアンケートで「とても参考になった。も

会員親睦旅行

先月会員親睦旅行が開催され、三十七名が参加しました。戸田・原で参加者を乗せたバスは宇都宮を経て会津若松へ。ご存知の通り、会津若松は現在放送している大河ドラマの舞台として大変盛り上がり、今回訪問した観光名所や泊まった旅館など全てで「八重の桜」の幟が立ち並び、大勢の観光客を集めています。紅葉の季節と重なっているといえ、タイアップ効果の大きさを感じました。

二日目、鶴ヶ城く飯盛山で時間を超過してしまい東京スカイツリーへの到着が遅れてしまいました。その代わりに展望デッキからの東京の夜景を堪能することができました。ただし、戸田に到着したのが二十三時過ぎになってしまったのは今後の課題です。なおバス内では終始賑やかで紅葉同様親睦もより深まったかと思えます。参加していた方がありがとうございました。……と話を聞きました。」「と答えていました。

歳末お買い得商品券発行

原・戸田支所300万円分の商品券が30分で完売



商品券お買い求めの長蛇の列

商工振興対策協議会開催

商工会及び自治会や各種団体で組織された商工振興対策協議会が、十一月八日開催されました。原浮島地区と戸田地区の活性化について協議されました。

特に戸田地区の観光客の減少が著しく、民宿や旅館の廃業が目立ちます。これを受け本年度は、富士山世界文化遺産登録があったため、戸田と原から見た富士山の写真入りのクリアファイルを作成することにしました。


原地区大手企業懇談会

十一月二十七日、標記の懇談会が開催されました。原地区の大手企業会員と当会役員が忌憚のない意見や情報の交換を行うもので、昨年度に引き続き二回目となります。

今回は、東洋ファイバー(株)、特種メーテル(株)、(株)トーヨーアサノ、日本ガス興業(株)、藤森工業(株)の五社の会員の参加をいただき、大村会長、清水副会長、中嶋会計理事と懇談を行いました。


「沼川新放水路(仮称)の建設」について、静岡県沼津土木事務所の担当課長から説明を受け、意見交換が始まりました。

参加者からは、過去、沼川の洪水で被害を受けたので、新放水路の早期完成を求める声や、原駅南側を含めた原駅前の一體的な整備促進の意見が出ました。また、将来、交通インフラが整備された場合交通渋滞は解消しても車が通過するだけの地区にならぬよう集客施設が必要であり、この施設を地域の活性化の起爆剤とする意見も出ました。

 **沼津信用金庫 原支店**
沼津市原町中3-13-23 TEL(055)967-6567
ホームページ・アドレス <http://www.numashin.co.jp/>

 **安・信・豊・遊 JAなんすん 原支店**
みなさまの暮らしに、安心と信頼をお届けします。
〒410-0312 沼津市原349-3
TEL(055)966-0600 FAX(055)966-0722

 **静岡銀行 原町支店**
SHIZUOKA BANK
〒410-0312 沼津市原195番地の8
TEL(055)966-1010 FAX(055)966-8309

 **三島信用金庫 原町支店**
ローンの御相談はさんしんへ
〒410-0312 沼津市原195番地の6 TEL(055)966-1511

戸田支所だより

市内一斉クリーン週間

前日の雨も上がり、冷え込んだ朝になりました。

十一月十一日、市内一斉清掃に合わせて、商工会役員、法人会役員の方々の協力を得て、青年部・女性部合同で、戸田峠、古宇方面のゴミ拾いを行いました。

今年は路肩の草刈が行われていて作業がしやすかったです。拾ったゴミは商工会に集められ、分別を行いました。燃やすゴミ四十一袋、缶十八袋、ビン三袋、埋め立てゴミ二袋の他、ビニールパイプ、冷蔵庫の部品等に分けられました。

一人一人がゴミを捨てない心掛けが大切だと思います。



クリーン作戦の青年部員

青年部視察研修



ちゅら水族館

毎年恒例の戸田支所青年部視察研修が十一月十二日〜十四日に行われ、今年度は沖繩本島の事業所・観光施設の見学を行いました。

沖繩到着後すぐの昼食では、米軍施設内のレストランへ。アメリカンスタイルのステーキを食べ、深夜のバス移動&早朝の飛行機で疲れた体に元気を取り戻し、再び長時間のバス移動の強行日程となりましたが、地元沖繩の『オリオソニール』の工場を見学。

二日目は、ちゅら水族館等の観光施設を見学。沖繩の民謡や料理にも触れました。最終日は世界遺産・首里城へ。見学後は、沖繩一賑やかな商店街『国際通り』を散策、自身の濃い視察となりました。

駿河湾深海生物館(前編)

駿河湾には、栄養豊富な富士山の雪解け水が流れ込み、多様な生態系を形成しています。今回から三回にわたり、駿河湾の深海生物についてご紹介していきます。

一般に水深二〇〇mより深い海を「深海」といいます。中でも一、〇〇〇m以上の湾は、日本に駿河湾、相模湾、富山湾の三つしかありません。このうち駿河湾は、最も深いところで二、五〇〇mもある、日本一深い湾として知られています。

戸田港では現在八隻の底引き網漁船が操業しています。日本において機船底引き網漁が始まったのは大正二年、戸田においては大正六年に開始されました。その後昭和初期から戦時中は急速に衰退しましたが、戦後は比較的豊漁に恵まれ、機械の導入も進んで安定した経営がなされてきました。

底引き網漁の漁期は九月中旬から五月中旬までで、朝暗いうちに出港し、大体日没前

に帰ってきます。漁の多い日には、沢山の海鳥が船の後をついてきます。

さて、深海生物館に入るとすぐに大きな魚のはく製が目につきます。「サケガシラ」です。体型はタチウオに似て細長く、表面は銀色に光っています。時々「リュウグウノツカイ」と間違えられます。名前の由来ははっきりしていませんが、泳ぐ姿が鮭を思わせるからとか、頭部が陥没しているの「裂け頭」であるとの説があります。

深海生物館に展示してあるのはく製は、戸田の花沢照蔵さんが捕獲したもので、二m八十八cmもあり、この種では最大の標本です。



「サケガシラ」のはく製

創業明治参年 味わいの宿

ときわや

高足ガニとエビカニづくしの磯料理

TEL 0558-94-3333
フリーダイヤル TEL 0120-04-1260
ホームページ <http://tokiwaya.info>

企業の繁栄と社会貢献

沼津法人会 戸田支部

支部長 中島寿之

事務局 沼津市商工会 戸田支所
0558-94-2224

食中毒予防の決め手はあなたの手

沼津食品衛生協会 戸田支部

西伊豆/へだかんせん

海のはる **いさば**

■夕日海産物話■

〒410-3402
沼津市戸田美浜海岸3878-20
TEL 0558-94-3048(代)
URL <http://www.isaba.co.jp>

第五回写真コンテスト
入選作(1面よりつづく)

「地域の魅力を探る写真コンテスト」に今年もたくさんのご応募をいただきありがとうございます。選考の結果、次の十点が入賞されました。入賞作品は次の通り、展示予定です。

〈本所〉

商工会二階

一月六日～三十一日

原地区センター

二月三日～二十一日

〈戸田支所〉

商工会二階

一月六日～三十一日



「優秀賞」浮き島

花火

佐伯 孝

戸田庁舎

二月三日～二十一日

また、本年度も上位入賞作品を掲載したカレンダーを作成し、会員や関係者に配布します。ご希望の方は、沼津市商工会までお立ち寄りください。

「ほっと賞」次の六點



大漁船 辻 弘一



田んぼの逆さ富士 佐伯 孝



戸田の線と弧 廣瀬俊之



梅雨が明けて 西家 孝



湿原の風景 川口泰弘



←桜の下に咲く貴重な絶滅危惧種 川口泰弘

経営指導員だより

十月四日から四週間、中小企業大学校で『経営診断基礎(商業コース)』という研修を受講しました。全国から商工会、商工会議所の職員六十名が集まり、経営内容の分析方法やその後の改善策、店舗づくり等について学ぶ機会を頂きました。

企業の経営は算数のように決まった答えがあるものではなく、後になって売上(利益)として、場合によっては長い期間での積み重ねが後になって結果として表れてくるものです。経営の分析も同じで、目の前の事象をどう捉えるかは、その人の視点や感覚によって、その後の判断(経営方針)が異なってきます。

この『答えの無い勉強』をするため?かどうかはわかりませんが、研修では五、六人の班分けによる演習に多くの時間が割かれ、またテーマごとに毎回班のメンバーが変わる構成となっていて、多くの方々と色々な見方で意見を交換し合うという、貴重な経験となりました。指導員NK

1月の行事予定

原支所

- 1月 6日 新年あいさつ回り 総務委員会
- 1月8~10日 年末調整指導
- 1月19日 商業部会視察研修
- 1月22日 新春講演会・交流会
- 1月23日 原・浮島ランドデザイン地元説明会

戸田支所

- 1月 6日 総務委員会
- 1月7~20日 年末調整指導
- 1月15日 臨時職員面接試験

TOPIX 本商工会で商標登録取得

〈へだトロはんぺんのロゴマーク〉



〈沼津(愛鷹)茶のロゴマーク〉



富士山の麓で生産されるお茶をイメージし、主に海外向けに作りました



沼津法人会 原支部

めざします企業の繁栄
と社会への貢献